



チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社

TEL 03-6205-8340

<https://www.checkpoint.com>

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー25F

Check Walker

3rd

Thema
succession



名桜大学

ゴミ拾いをサークルから組織化へ

学生主体、ボランティア組織の運営方法と後輩へ伝えたい想い

企業特集【沖縄】

株式会社名護パイン ゆいまーる沖縄株式会社

contents

Engineer cafe

エンジニアカフェ

中小企業が限られた予算で 最適なランサムウェア対策を講じるには

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
セキュリティエキスパート Office of the CTO 高橋 弘之

Thoughts of Workers

働く人達の想い

ゆいまーる沖縄株式会社 直販部 松田哲郎

株式会社名護パイン園 ナゴパйнаップルパーク
執行役員 支配人 日高 章

Children for the future

未来を担う子ども達

名桜大学 green bird 沖縄支部

4年生 兼 沖縄支部リーダー 山下寛人

Check Point Topics

OKINAWAセキュリティサミット2023

Advertisement

Engineer cafe

2023年 中小企業が限られた予算で 最適なランサムウェア対策を講じるには

2022年はサイバー攻撃をグッと身近に感じた一年だったと思います。 私自身、SMB（中堅・中小企業）向けのチャンネル・プリセールスとしてパートナー企業やお客様と日々対話をしますが、サイバー攻撃が巧妙化する中で中小企業のお客様の意識が変わりつつあることを実感しています。

昨年、多くのニュースとなった「サプライチェーン攻撃」は意識を変えた要因の一つでしょう。トヨタ自動車の取引先企業がきっかけとなったインシデントを皮切りに、今も復旧が続く大阪急性期・総合医療センターは同院の委託事業社が感染経路だったことが判明しました。大手企業を直接狙うのではなく、関連の中小企業から牙城を攻める狡猾なやり方が広まりつつあります。

事実、チェック・ポイントの脅威インテリジェンス部門であるCheck Point Research（以下、CPR）によると、2022年の全サイバー攻撃の61%が中小企業を狙ったものだったという報告がありました。中小企業でも医療記録や銀行口座といった機密情報を保持しており、これらの情報販売や、身代金の要求が可能なことから、サイバー犯罪者を惹きつける魅力の一端になっています。また、ランサムウェア攻撃による初期的な損失にとどまらず、機密保持法に違反することで罰金の対象となることもあり、大きな金銭的な打撃を受ける可能性があります。さらに、多くの中小企業がビジネス継続において重視している顧客からの信頼が大きく損傷するリスクを考えると、サイバー攻撃がどれほど大きな被害をもたらすか、理解できるでしょう。

中小企業がデジタル化を推進し、多くの新しいテクノロジーを採用し続ける一方で、サイバーリスクは増加の一途をたどります。ハイブリッドワークのためにリモートアクセスを容易にし、SaaSプラットフォームの利用など、かつてないほど多くのデバイスがインターネットに接続し、脅威にさらされるようになったのです。

では、中小企業はどのようにサイバーレジリエンスを高めればよいのでしょうか。



チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
セキュリティエキスパート Office of the CTO 高橋 弘之

巧妙化するランサムウェア攻撃

サイバー犯罪者は、ランサムウェア攻撃の頻度と精巧さの両方において、進化を続けています。ランサムウェアは、素早く展開でき、効率的に見返りが得られるため、多くのサイバー犯罪者に好まれています。

ランサムウェア攻撃では、犯罪者が顧客の大切なデータにアクセス、暗号化して、多額の現金または暗号資産の支払いを要求します。被害者は犯罪者からロック解除コードが提供されない限り、データにアクセスできなくなります。実際、2021年は、ランサムウェアの攻撃により、世界の企業が合計4900万ドルを身代金として支払ったと報告されています。ただし、犯罪者が相手であり、身代金を支払えばデータが解除されるという保証はなく、さらに要求してくる可能性もあることを忘れてはなりません。サイバー犯罪者の中には、盗んだデータの一部を流出させ何らかの圧力をかけたり、流出対象の個人に対して金銭を要求するなど、二重、三重の恐喝攻撃を仕掛けたりする者もいます。



犯罪者にとって「容易」なターゲットとなってしまう現状

リモートワークへの移行はサイバー攻撃を増加させる原因になっています。攻撃者は、中小企業であってもリモートワークが拡大していること、そして中小企業のセキュリティ予算が潤沢でないことを認識しています。このため、リモートワークはハッカーにとって格好の標的となり、貴重なデータへのアクセスを許す結果につながります。他方で、大企業は専門のサイバーセキュリティチームがあり、最新の脅威検出・防止技術を展開するリソースがあるため、攻撃者も慎重に対応します。中小企業は、ランサムウェア攻撃に直面する可能性がさらに高まるだけでなく、ビジネスに及ぼす影響が大企業に比べて不均衡に大きくなることも認識しておく必要があります。大企業ではランサムウェア攻撃による金銭的損失は大きいかもしれませんが、回復するためのリソースがあります。しかし中小企業にとって、1度のサイバー攻撃により事業を停止させられてしまう可能性すらあるのです。

攻撃はどのように仕掛けられるのか？

ランサムウェアはフィッシングメールを通じて配布されることが多く、このフィッシングメールは、忙しい時に相手の目を引き、不用意な決断を誘うことを目的としています。ハッカーは一般的に、信頼できるブランドを模倣したり、同僚のメールアドレスに偽装したりして、メッセージに信憑性を持たせます。そして、被害者に不正なリンクをクリックするよう要求し、ランサムウェアを展開させるのです。また、ソーシャルエンジニアリングという手法もあります。これは、ハッカーが被害者に関する情報を収集し、被害者との関係を構築してログイン情報を入手し、それをもとに攻撃を仕掛けるといったものです。多くの中小企業では、ノートパソコン、サーバ、デスクトップなどのエンドポイントは何らかの形で保護されていますが、防犯カメラなどのIoTデバイスは多くの場合保護の対象外です。個人の携帯電話やiPadを業務で使用する人も数多くいますが、そのうちのどの程度が何らかのモバイルセキュリティを導入しているのでしょうか。最近のレポートでは、企業内のすべてのBYODの80%でセキュリティ上の管理がされていないことが判明しています。携帯電話、タブレット、ノートパソコンなど、たった1台のデバイスとたった1人の従業員が、悪意のあるファイルをダウンロードしたり、不正なリンクをクリックしたりするだけで、企業ネットワーク全体が危険にさらされるのです。

Cyber Security

Check Point Japan



知らぬ間にランサムウェアが侵入し、システムからロックアウトされて取引ができなくなり、顧客の個人情報が暴露されてしまいます。そのため中小企業では、詐欺の被害に遭う可能性を減らすために、従業員との関わりの中でリスクに対する認識を高めることが重要です。

攻撃はどのように仕掛けられるのか？

すべてはレジリエンスを向上させることから始まります。すべての組織が第一に行うべきは、セキュリティパッチを迅速に適用し、すべての従業員とデバイスを確実に更新することです。少しの遅滞でも、サイバー犯罪者に隙を突かれる可能性が生まれます。こうした更新を迅速かつ効率的に行えるよう、社内プロセスを改善することが重要です。そして、バックアップデータがメインサーバから完全に切り離された場所に保管されていることを確認しておくことも重要です。多くの場合、バックアップは他のデータと同じサーバに保存されているため、攻撃を受けた場合そのデータもすべて犯罪者による利用が可能になってしまいます。ランサムウェア攻撃から復旧する際、従業員が日常業務の継続に必要な基幹ファイルにアクセスできるよう、組織は完全に分離されたオフサイトのネットワークバックアップを準備する必要があります。予算は中小企業にとって障壁となる場合が多いため、新しいテクノロジーの導入を検討する前に、導入済みのソリューションの数を減らし、単一のプラットフォームやベンダーに統合することを優先すべきです。これは、企業がビジネスのさまざまな分野に対する保護を目的として分野ごとに異なるサードパーティサプライヤーに依存することが多く、結果として重複した不必要な防御が追加される状況への対応です。関係するベンダーの数を減らすことにより、TCOを削減し、攻撃対象を減らし、ネットワーク全体を一元的に把握することで、セキュリティ上の異常事態の発見を容易にします。



攻撃はどのように仕掛けられるのか？

ランサムウェアの被害は拡大しており、その勢いは衰えを見せません。そのため中小企業は、攻撃が発生する前に、今この時から準備を始める必要があります。この新たな変革期に向けて計画を立て始めるにあたり、サイバーセキュリティ戦略を一過性のものとして扱わないことが重要です。また、脅威の変化に適応できるよう、機敏な対応が必要です。ハッカーの手口は常に進化しているため、企業も同じ速度でアプローチを変えねばなりません。遅れが生じることでビジネス、そして企業に壊滅的な結果を招きかねないセキュリティ対策は、すべての中小企業にとって、今、優先的に取り組むべき課題です。



「はいさい」「ちばりよー」「めんそーれ」沖縄の方言を耳にしたり、知っている！と言う人は少なくないだろう。今回取材させていただいた会社は、社名に沖縄の言葉を使っている。ゆいまーる沖縄株式会社。"ゆいまーる"は“助け合い”という意味を持つ沖縄の言葉だ。

沖縄を自立させたい

「創業者である故 玉城幹男氏が創業前、上京先で沖縄出身という事でいわれなき差別を受けている現状を目の当たりにし、様々な仕事をしながら、仲間たちと沖縄の環境や経済について勉強をしていました。そんな中、沖縄を自立させたいという思いが強くなり、1988年に沖縄そばや沖縄の食材を、沖縄県外にお店を構える沖縄料理の飲食店などに卸し始めたのが創業のきっかけです。」今回取材を受けていただいた松田哲郎氏もそんな沖縄の魅力を発信したいと思って入社したひとりだ。

沖縄の価値を高める

松田さんにいただいた名刺には、「沖縄の価値を創造する感動創出企業」と記載されている。ゆいまーる沖縄は、沖縄の文化的価値を創造・発信することで、社会に対して沖縄の持つ価値観やライフスタイルを提案

するソーシャルデザインカンパニーとして、様々な沖縄の良さを発信し事業を拡大させている。筆者含め読者の中には“沖縄＝観光地”というイメージが強いはずだ。その考えは間違いではないし、お土産や飲食、観光にお金を使ってもらうために秘策を練るのが一般的な企業の考えだと思う。しかし、ゆいまーる沖縄は少し思考が違う。当然会社としての利益は求めるが「自分たちだけが儲かることだけではなく、沖縄で活動する生産者など、沖縄におけるすべてのリソースを最大限活かすこと」を常に念頭に置き事業を進めている。筆者も流通業に従事したことがあり”ものづくり”に携わったことがある。経験から言うと【思いはあっても実現化することには勇気がいる。一般市場とズレが生じてしまい自己満足で終わってしまうケースが多いからだ。

「弊社社員はひとつの物が単に消費されるだけではなくその物の伸び代や可能性を見つける為に商品自体を磨き、輝かせる努力を惜しみません」と松田さんは言う。

シマノネ

その究極系がシマノネではないだろうか。シマノネはゆいまーる沖縄が持つ独自ブランドだ。きっかけはゆいまーる沖縄株式

会社と沖縄県立芸術大学の協業だった。「長く愛され続ける、沖縄の新しいデザイン」として、【今の時代の感性にマッチしながらも一過性の流行に終わらないものを作る】この思いに共感してくれた沖縄県立芸大北村研究室の学生10名が参加。「おばあちゃんが持たせてくれたサングラー」や「故郷の渡嘉敷島で毎日眺めていた夕暮れの海」など、沖縄の自然、伝統文化など”今後も残していきたい沖縄の良いところ”をイメージの核として、それぞれの柄はデザインされてきた。そして、ずっと大切にしていきたい「島の根っ



ゆいまーる沖縄株式会社
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町宮平652
TEL：098-882-6990
営業：9:00-18:00
休日：土・日・祝日
ホームページ
<https://utaki.co.jp/>
ゆいまーる沖縄 本店
TEL：098-882-6995
営業：10:30-18:00
休日：第1・3木曜日 他
オンラインストア
<https://yuimarluokinawaweb.jp/>

こ」という意味からシマノネという名前は生まれた。「デザインブランド」として黒糖入り小箱やお茶入り缶、手ぬぐいやミニバッグなど多様な商品が展開され、県内高級ホテルやオンラインショップ、那覇空港で購入することができ、ブランドイメージとしても少しずつ認知されるようになってきた。



伝統継承とアップデート
ゆいまーる沖縄では「琉球で企画、原料調達、加工、製造されている商品をできるだけ取扱う」といった商品基準を設けている。昔から沖縄の伝統産業に関わることを生業としてきた生産者に声をかけ、古き良きものを生かしつつ、時代にマッチした新しい価値をお互いに納得する形で創造しなければならぬ。時には意見がぶつかることもある中で、【沖縄のために】という共通点を持って一緒に作っていく。

心構え
その様なやりとりの中、思いが形になった瞬間は感慨深いこともあるという。「不思議なことに一所懸命に取り組んだ商品ほど、必ず手に取ってもらえる品

になるんです。」
筆者が”ものづくり”を経験したと先述したが、取材をする中で利益中心にもものづくりを企画していた自分がとても恥ずかしくなった。
「創業者が会社を立ち上げる前に、沖縄でどのような会社を創っていくか？と、タイ、インド、ネパール、バングラデシュ、フィリピンなど、東南アジアを3ヶ月も旅しながら創った会社です。それは私たちの根っこにあり、“心構え”として継承されています。」
沖縄を想うことから始まり、沖縄の価値創造を目指す会社として、ひとつひとつ着実に進んできたゆいまーる沖縄。沖縄へ訪れた際は、是非一度商品を手に様々な思いを感じてほしい。



ゆいまーる沖縄株式会社 直販部 松田哲郎

沖縄のために私たちができること



パ・パ・パ・パ・パ・パ・パ・パ・
パイナップル♪

一度聞いたら頭から離れない。
三線とパーランクーから奏でる
音楽に思わず誰もが口ずさむ。
そんな音楽だけにとどまらず、
人を魅了して止まないパイナッ
プルのテーマパークがある。

沖縄のパイナップル産業

沖縄にはパイナップルの産地と
して適している地域が2ヶ所あ
る。ひとつは石垣島、もう1つ
の場所が沖縄県北部に位置する
名護市だ。酸性土壌と赤土から
育つパイナップルは程よい酸味
と海外産では表現出来ない甘味
を感じることができる。

沖縄で本格的にパイナップルが
栽培されたのは1924年。県外出
荷も始まり順調かと思えた矢
先、戦争によって畑や工場など
生産者は壊滅的な打撃を受け
た。戦後石垣島に続き沖縄本島
でも栽培が再開されるも、1970
年代のオイルショックや海外産
冷凍パインの輸入自由化、さら
に追い打ちをかけるように1990
年パイン缶詰の輸入自由化に
よって沖縄のパイン産業は大き
く落ち込んでいった。
戦後、基幹産業として沖縄の経
済を支えてきたパイナップル。
1979年にはナゴパイナップル
パークの前進となる合資会社名
護パイン園が開業し、沖縄観光
に來られた方へパイナップルを

土産品として販売する小さな店
舗として開業した。

徹底した差別化

名護パイン園は、パイナップル
を取り扱う店舗としては後者と
なり、他社との差別化を図るう
えで努力を惜しなかった。
最初に取り組んだのが観光バス
で訪れる団体客が購入したパイ
ナップルを、帰りの飛行機の日
程に合わせて直接空港へ届ける
サービスは他社も行っていた。
そこで、極力手荷物を減らした
いお客様のお声からヒントを得
て、お客様の手荷物を地元空港
の手荷物受取場所で受け取れる
よう手配するサービスまで実
施。このサービスがお客様へも
とても好評で、名護パイン園は
認知されるようになった。
今では当たり前になったフルー
ツを使ったお菓子も、1985年に
パイナップルを使ったお菓子、
パインカステラを販売開始。1
次産業として始まったパイン園
が3次産業へと進化した。平成
4年パイナップル専門店からパイ
ナップルに特化したテーマ
パーク【ナゴパイナップルパー
ク】として沖縄県内はおろか、
日本中から観光客が訪れるよう
になる。さらに差別化を図る
為、1992年には日本初のパイ
ナップルを使ったワインの製造
する「名護パイナップルワイナ
リー」をオープン。パイナッ

ルという一果物をここまで魅力
的に拡大させた会社は日本中探
しても名護パイン園くらいだろ
う。

ゼロエミッション運動

パイナップルを食するにあたり、
加工品にした後でも廃棄せ
ざるを得ない部分が5割もあ
り、名護パイン園としての課題
だった。そこで食に適してい
ない部分を炭化し石炭へ、パイ
ナップルの芯をお漬物にし、果
皮のえぐみのある果汁からお酢
を製造、最終的に残る残渣は牛
の飼料としてゼロエミッション
を開始した。すべてではないが
約8割の廃棄を減らすことに成功
している。これも社員含む全員
の知恵の結集だと日高支配人は
語ってくれた。



ナゴパイナップルパーク

〒905-0005
沖縄県名護市為又1195
TEL：0980-53-3659
営業 [10:00-18:00]
最終入園 [17:30]
不定休
ホームページ
<https://www.nagopain.com>
オンラインストア
<https://shop.nagopain.com>

伝統継承とアップデート

6次産業という言葉をご存知だ
ろうか。1次産業（生産）×2
次産業（加工）×3次産業（流
通・販売）をそれぞれ掛け合わ
せ6次産業と言い、生産物の
元々の価値を高めようというも
のだ。名護パイン園は現在ココ
に力を注いでいる。パイナップ
ルの持つ本来のポテンシャルを



最大限活かそうとしているの
だ。
観光地に大打撃を与えたコロナ
ウイルス。当然名護パイン園も
同様、大きな影響を受けた。
ただ、どのような状況下でも知
恵を出し合い、生産者と共に常
に新しい市場を創造してきた企
業は底力が違う。ワイナリーと
して培った技術を活かし、なん
とブランデーを作り、コロナ禍
に始めていた。
「ブランデーも寝かせなければ
ならず、商品としてご提供出来
ようになるのは2025年を予定
しています。是非楽しみにして
いてください!!」
と、日高支配人も太鼓判を押
す。
2025年、名護パイン園の目と鼻
の先に大型施設がオープンする



予定。あらゆる状況下でも社員
全員で知恵を出し、代表者や責
任者自身も社員と同じ輪の中で
商品開発や方向性を話し合う社
風の名護パイン園。新たな発想
と新たな価値を創造するには、
そのような社内環境が創業当時
から変わらず受け継がれている
からだろう。「現在流通してい
るパイナップルの、実に96%は
海外産なんです。でも私達はこ
の4%の県内産パイナップルの
魅力を最大限掘掘し発信してい
く。それが県内の生産者を守
り、そして沖縄を盛り上げてい
くことだと信じています。」
【パイナップルを楽しむ学ぶ味
わう】
まさにこの言葉そのものが名護
パイン園の根底にあり、魅力そ
のものだと感じた。



株式会社名護パイン園
ナゴパイナップルパーク
執行役員 支配人 日高 章



自分たちが住む街をもっとキレイでもっとカッコイイ街にするために。

「おはようございます！」

早朝7時前、20歳前後の学生達が沖縄県名護市にある21世紀の森ビーチに続々と集合する。名桜大学4年生で認定NPO法人グリーンバード沖縄支部のリーダー山下寛人さん含む12名の学生達が元気よく挨拶をしてくれた。月に2回ボランティアを実施おり、自身の通う名桜大学と、この21世紀の森ビーチのゴミ拾いを行っている。大学内ではこのゴミ拾い活動をサークルとして認知してもらい、友達の誘いやSNSで興味を持った学生達が主に活動する。そんな彼らに取材を申し込み思いを聞いてみた。

ゴミ拾いという意識がない

「この活動を始めてから、学校や

このビーチのゴミが減ってきたと実感します。」と、大阪出身の1年生畠山さんは語る。高校までずっと新体操をやってきた畠山さん。「将来は体育教師になって母校で新体操を教えたいと思っています！」明確な目標を持っていることに感心しながらも、なぜ体操とは似つかないゴミ拾いなのか？と質問を試みた。「きっかけは友人に誘われました。その友人は今日来ていませんが(笑) 僕自身朝早く活動することが好きなんです。先輩達もとても気さくに声掛けをしてくださり、変な言い方ですが”意識してゴミ拾いをしている”という感覚もあります。とにかく楽しいです！あと、自分自身、分別に対して意



識が向くようになりました。まだ1年生で数回しか参加していませんが、4年生になってもこの意識は持ち続け、活動は続けていきたいと思っています！」そう語ってくれた。

捨てる人がいれば拾う人もいる

もうひとり同じ1年生で取材日が初めての参加という、目(さっか)さんに話を聞いてみた。「先輩達がやさしく声掛けをしてくだり、参加しやすい環境でした！」と元気に語ってくれた。もともと海や自然が大好きで、沖縄にある大学に進学を決めた。将来は沖縄県で就職を考えており、ウェディングプランナーを目指している。「海が好きなんです。でもその海がゴミだらけなのはとても嫌で“リゾート地を綺麗にしたい！”と

思って参加しました。」今回参加したことで、朝から活動する楽しさを知り、この活動は是非続けていきたいと元気に語ってくれた。「今まではゴミを捨てている人がいても、見てみぬふりをしている自分がいました。しかし、注意することは怖くて出来ませんが、その人が捨てたゴミを拾うことはできます。やはり自分が住んでいる街や、好きになった土地がゴミで汚れるのはとても嫌な気分になります。」

活動のきっかけ

畠山さんも目さんも、このゴミ拾いの活動に対して共通の言葉を口にしていた。”楽しい！”と。これには4年間この活動に取り組んできた4年生の山下寛人さんが、継続のために試行錯誤した結

果の表れだと思う。「この活動を始めた当初は、ただ黙々とゴミを拾っていました。」東京から名桜大学に進学し、サッカー部に所属していた山下さん。しかし2020年にコロナの影響を受け、サッカー部の活動がほぼ出来ない中、数人でこの21世紀の森ビーチで自主練習をしていた時だった。「なんでこんなにゴミがあるのにそのまま放置されているのだろう・・・」そう思った後の行動が早かった。当時オンライン授業が主流だった事を生かし、先生に許可を得てでゴミ拾いをしてくれる仲間を授業の中で募集。集まった数人でビーチのゴミ拾いを実施した。「すごい量でしたよ！45ℓのゴミ袋が50個以上も集まるくらいのゴミを拾いました。」



県北部への高等教育研究機関設置を強く求める住民の要請により、沖縄県、名護市など周辺自治体が拠出した資金で設立された大学。2010年4月以降公立大学への移行。国際学部と人間健康学部があり、近年入学者が増えている。

〒905-8585 沖縄県名護市字為又1220-1 <https://www.meio-u.ac.jp/>



green bird 「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに誕生した原宿表参道発信のプロジェクト。平成15年に特定非営利活動法人化。全国にそれぞれ活動拠点がありチームリーダーが存在し、拠点毎にゴミ拾いをおこなっている。

green bird 沖縄チーム <https://www.greenbird.jp/team/okinawa>



1年生 畠山 馨(左) 1年生 目 夏海(右)

“ゴミを拾う、そしてゴミを捨てない”そういうコミュニティを作ろうと思い、先生達にアピール。サークルとして認めてもらい、学校からは部室を用意してもらった。また、しっかりとした組織活動を継続するために全国組織で活動している、特定NPO法人green birdの沖縄支部として加盟。山下さん自身は沖縄支部のリーダーとして活動に専念している。

継続と継承

「この活動を始めた当初は60名程参加者がいました。中には地元企業の方もボランティアとして参加されていたんですよ。ただ年々減っています（笑）」組織を立ち上げるまでは突っ走ってきた山下さん。自身が4年生になり卒業を意識する様になってから、組織の継続を心配している。「人が減っていくのをどう食い止めるか？学生じゃなくても、活動する人をどう集めていくのか？LINEグループ、Instagram、facebook・・・。とゴミを拾うことより、組織の継続について考える事が増えました（笑）」と山下さんは語る。



同じ運営チームで2年生の中野さんも同じ想いだ。

「今年から運営チームに入り、自分も色々と継続について考える様になりましたし、色々気づくことが多くあります。先ほど取材を受けていた1年生が『楽しい』と言ってくれていましたが、これは山下さんが”どうすればゴミ拾い意識しなくても人が集まってくれるか？”と考えた末の結論なんです。僕自身も参加した当初から先輩方が気さくに話をしてくださるから、『楽しい』と思えて今に至っています。僕はこの『楽しさ』とひとつの事を続ける大切さを次の世代に引き継ぎたいと思っています。大変ですが(笑)」

山下さんへ後輩達へのアドバイスを聞いてみた。

「不安しかないと思います。でも止まったらダメ！走りながら考え

ることが大事！という事を1番に伝えたいです。困難は誰にでもあります。立ち止まって考えることも大事ですが、組織のボスが立ち止まってクヨクヨしていたら、それを見る後輩達は不安に思ってしまう。そんな組織にだけはしたくありません。」

組織の経営者でもここまではっきりと言える人は少ないと思う。自信持って語る山下さんは、きっと一生懸命取り組んできたからこそ、堂々と自然に言えるのだと感心してしまう。

山下さんはこの経験を生かして、卒業後は海外青年協力隊として世界中の手助けをしたいと語ってくれた。この行動力と諦めない気持ち。そして本人の意志の強さと熱量を感じ、『取材をする時間』というより、色々と襟を正してもらう貴重な朝の時間になった。



名桜大学4年生 green bird 沖縄支部リーダー 山下寛人



名桜大学2年生 運営チームのひとり 中野圭将

Check Point Topics

OKINAWA サイバーセキュリティサミット2023

沖縄県那覇市にあるロジワールホテル那覇にて、
2023年5月25日サイバーセキュリティセミナーを開催し沖縄県内の企業50社、
100名近い方にご参加をいただきました。

セミナーでは沖縄県警察本部サイバー犯罪対策課の方をはじめ、ゲストの方にもご登壇いただき沖縄県内におけるサイバー犯罪の状況や、企業が身近に出来る対策方法など、昨今の脅威に対する備えの大切さをセミナーを通してお伝えすることが出来ました。

ご参加いただきました企業・団体の皆様

お忙しい中ご来場いただき誠にありがとうございました!!



Advertisement

毎月第4月曜日

チェックポイント社がスポンサーを担っている

ラジオ番組

樋口修三のBiz CHECK

営業・人事畑を20年以上最前線で見てきた樋口氏を

メインパーソナリティーに

ゲスト企業様のお仕事内容や歴史を楽しく紹介

『営業魂』コーナーでは

Twitterやメールで投稿いただいた

視聴者の”お悩み”を解決!!

現在大手企業のキャリアコンサルタントとして

『マネジメント』や『ハラスメント』など

幅広いテーマで研修を実施している

樋口氏の軽快なトークを聞いて

あなたも一歩先行く社会人スキルを身につけてみませんか？

<https://cp-smb.com/lp/radio>

↑閲覧方法とコメント投稿↑



株式会社ラブフォーティー
<https://00-40.com>

一般社団法人ユニタウン
<https://universal-town.com>

就職氷河期と言われた時代、実力主義のIT商社へ就職

営業部に配属後1年で課長、3年後に統括課長
20代で20名の部下を持つマネージャーへ

2007年に人事部へ異動し、10年で面接1万人以上
採用と教育の責任者として自社の新人研修、ケア面談
マネジメント研修等をおこなう

その後、老舗研修会社へと転職し大手航空会社や
ハウスメーカー、生命保険会社等の人材開発を担当

現在では銀行、IT企業、大手製造企業
欧州自動車メーカーの研修を担う

2021年4月株式会社ラブフォーティー代表
2021年10月一般社団法人ユニタウン代表理事

Check Point SMB team

general manager

Kenta Sanada

sales manager

Shoichi Tamura

sales

Kayoko Katayama

Mizuho Sawabe

Mayuko Takano

Kiyoshi Ogura

engineer

Nobutaka Kobayashi

Hiroyuki Takahashi

Yoshiyasu Nakayama

marketing

Reona Sakurai



SMB公式 twitter

https://twitter.com/check_smb

